

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/> E-mail chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp

発行人：牧里每治 編集人：和気康太

CONTENTS

第24回大会を終えて	1
2010年度総会議事録	2
第7回優秀実践賞	4
新潟大会に参加して	5
地域福祉サミット	6
全会長を囲む会	7
宮崎口蹄疫寄付金報告	8
新入会員紹介	8
INFORMATION・編集後記	8

第24回大会（新潟大会）を終えて

大会実行委員会事務局長 趙 晤 衍（敬和学園大学）



2010年6月12日・13日、「地域福祉実践の新局面—地域を基盤としたソーシャルワークへの新たな期待と展望—」をテーマとした第24回大会（新潟大会）は、延べ人数1,600名を超える参加を得て無事に終わることができました。改めて関係者の方々、会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

第24回大会（新潟大会）において心かけたことは、時代を反映した大会のコンセプトや特色の位置づけでした。大会テーマに関しては、地域福祉実践におけるソーシャルワークの新たな期待と展望について議論の場を設けること、大会の全般的な運営に関しては、開催地の実情を見据えた「手作りでコンパクトな大会運営」でした。二日間の全日程を小規模単科大学において行うことで大会シンポジウムも体育館で行うなど、移動時間や距離もコンパクトに収めることができました。しかしながら狭いキャンパスでの全日程に不便を感じられた方も多かったでしょう。しかしながら、学会の原点に戻った大会であったとの評価を多くの方から頂いたことは何よりです。

大会一日目では、元熊本県知事・現長崎国際大学学長の潮谷義子氏より基調講演を頂きました。午後のシンポジウムでは、登壇者だけでなく会場からも活発な意見が繰り広げられました。二日目には、自由研究発表、学会研究プロジェクト報告、地域福祉優秀実践賞報告があり、新潟シンポジウムでは、新潟の自然災害、特に2度に渡る大地震の経験に多くの方が耳を傾けられていました。

今大会の特徴は、新潟県社協、新潟市社協、新発田市社協、聖籠町社協、胎内市社協、敬和学園大学の共催、長岡市社協、燕市社協、県内五つの福祉系大学の会員が協同して実行委員会・運営委員会を組織したことであります。何より多くの社協の方々が積極的に大会運営に主導的に係ったことは新潟の財産です。今回の大会開催が、新潟の地域福祉実践の新たな期待と展望につながることを願っています。